委 員 会 会 議 録

（一社）滋賀県トラック協会

会 議 名	第７回　滋賀県交通安全フェア特別委員会
開催日時	令和５年　１１月１５日（水）　１０：００～１１：３０
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ「会議室」
出 席 者	甲斐切会長、松田副会長、山田副会長、委員８名、事務局６名

協　　議　　内　　容

定刻に開会。

甲斐切会長より挨拶があり、続いて松田委員長より挨拶をされた。

その後、松田委員長が議長として議事に入った。

（１）　滋賀県交通安全フェア（実施結果・開催経費）

事務局より資料１に基づき説明し、西野氏から補足説明をされた。

以下意見が挙げられた。

・ブルーシートの人数を現状のままで行くか検討する。（５０人動員で所要時間１時間）

・スタンプラリーは初の試みだったので継続することで数字も伸びると考えられる。

→次年度はデジタル化推進に向け、取組方法（今年度はLINE友達登録で抽選券１枚、LINEアンケートを答えるともう１枚抽選券を獲得できた）をどうしていくか検討の必要がある。

・ふわふわ遊具が子供たちに人気で列が絶えなかった。もう１つ遊具を増やしてはどうか？

・特別委員会での決定事項を実行委員会報告で報告するのはいいが結果まで特別委員会にもってきてもらいたい。

・入口付近に支部の受付があるのは一般の来場者から見ると威圧感を感じる。

・スタンプラリーを屋外にも設置したことで屋外にも足を運んでいただけたので良かった。

・弁当の種類を委員会で検討していない。総数は把握していたが何種類をどれだけ用意するか把握できてなかった。

・警察音楽隊のコンサートは例年人数が多いため、ステージ上ではなくステージ横で行っていたので残念だった。

・来賓の挨拶が間延びしていた。もっとコンパクトにするべき。

・バルーンアートのブースが子供達に好評だった。

・規模と予算が見合ってない。縮小してでも開催できる。会場を再検討してはどうか？

・実行委員会で屋外のカラーコーン設置場所を決定していたが当日に上（株）の準備がなくドラゴンハット担当者と相違があり急遽変更した。また、ドラゴンハットが会議に欠席していて、駐車場が車両展示で使用できないことを竜王町を含めて知らなかった。

・京都のトラックフェスタは滋賀県の２分の１の規模で実施している。

・滋賀県内全域から来場されている。県内の幼稚園・保育園・小学校にチラシを配布した

方がいいのではないか？
・新聞折込みを見て来場された方は少なかった。（アンケート結果）
・参加者の割には LINE 登録者数が少なかった。来年度もチラシと両立して登録者数を増やし、いずれはデジタル化推進に向けていく必要がある。
・ヒーローショー公演中はパイプ椅子に座られている方は多いが、そのほかの時間ではほとんど座られていない。ほかに活用できないか？

（２） 次回の開催計画について
・１０／１９（土）に仮押さえをしていたが、特別委員会前日に町内の学校の運動会が開催されるので１０／５（土）に変更をお願いされた。
・現在、竜王町は地域優先予約のシステムを取っており、竜王町、地域のイベントが優先される。

開催計画は会場を含め、今後検討していくこととなった。
また、滋賀県とも交付金事業として今後の動向について相談することとなった。

（３） その他
事務局より資料２に基づき説明。
・京都トラックフェスタは交付金会計か一般会計なのか確認をお願いされた。
→委員会終了後、確認を行ったところ、京都府トラック協会の単独で交付金会計だったことを報告。

苅谷安全環境委員長より挨拶をされ閉会した。

■次回委員会
日　時　　令和６年１月または２月予定
場　所　　滋賀県トラック総合会館　３階「会議室」